

全銀システムの稼働時間拡大に向けた検討状況について

一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク

1. 全銀システムの稼働時間拡大とは

- ▶ 銀行等の金融機関から他行宛に振込を行う場合、現在は一般的に、「平日朝から夕方まで」の時間のみ、リアルタイムで振込先の口座に着金が行われます。このため、「平日夕方～朝」や「土日祝日」に、ATM 等で振込を行っても、実際に振込先の口座に着金が行われるのは、翌営業日の朝となることが多くなっています。
- ▶ リアルタイムの着金が行われる時間が限定されている理由には、銀行ごとにお客さまのニーズが異なること等、様々な理由が挙げられますが、大きな理由として、銀行間の振込情報の通信を行う「全銀システム」¹の稼働時間が、「平日 8：30～15：30」²に限定されていることが挙げられます。
- ▶ 全銀システムの稼働時間拡大とは、この「全銀システム」を、24 時間 365 日稼働³させ、「平日夕方～朝」の時間帯および「土日祝日」の、他行⁴宛振込の利便性を向上させていく取組みです。
- ▶ 後述のとおり、本取組みへの参加は、各銀行の任意としています。このため、稼働時間を拡大した当初から全ての銀行間における振込に関してリアルタイムの着金の実現されるわけではありません。また、実際のサービスの提供時間や利用可能チャネル（インターネットバンキングや ATM 等）等は、参加銀行や口座の状況によって異なってくるものと考えられます。
- ▶ なお、同一銀行の口座間における振込については、「全銀システム」で取扱う対象ではないため、本取組みの対象ではありません。
- ▶ 現在、平成 30 年 10 月 9 日（火）をサービス提供開始予定日⁵とし、本取組みに関する検討・準備を進めています。

¹ 一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク（全銀ネット）が運営しているシステム。金融機関相互間の内国為替取引をオンライン処理します。詳細は <https://www.zengin-net.jp/>参照。

² 月末営業日（年末営業日を除く。）は、「7：30～16：30」の時間帯で稼働。

³ システムのメンテナンス等のため、一時的に稼働を停止する可能性があります。

⁴ 全銀システムを利用する金融機関には、銀行以外も含まれており、稼働時間拡大は、銀行以外の預金取扱金融機関も参加可能となっています。

⁵ 全銀システム稼働時間拡大のサービス提供開始について平成 30 年 10 月 9 日（火）を予定日とするものであり、各参加銀行のお客さまへのサービス開始時期は、その銀行が決定します。

【新たに拡大する稼働時間帯のイメージ】（詳細は「2.」ご参照）

時間帯	平日	土日／祝日
0:00 }		
8:30 } 15:30	<p>現行の稼働時間帯 （既存システムを利用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、全加盟銀行が接続を義務付けられている時間帯。 ・全加盟銀行間でのリアルタイム着金が可能。 ・既存システムにおける現行の稼働時間帯は維持。 	<p>新たに拡大する稼働時間帯 （モアタイムシステムを利用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24 時間 365 日稼働を実現するため、本体システムとは別に新プラットフォーム（モアタイムシステム）を構築。 ・主にインターネットバンキングや ATM などを利用した振込を想定。 ・接続する参加銀行間において、リアルタイム着金が実現。
} 18:00	<p>< 共通接続時間 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新たに拡大する稼働時間帯」のうち、全参加銀行が、共通して接続する時間帯。 	
} 24:00		

2. 稼働時間拡大を実現する仕組み

(1) 新プラットフォーム（モアタイムシステム）の構築

- 全銀システムの 24 時間 365 日稼働の実現方法として、具体的には、全銀システムの「現行の稼働時間帯」（平日 8：30～15：30、月末営業日⁶7：30～16：30）に加え、個人・法人ともに相応のニーズのある「平日夕方～夜」「土日祝日」など、これまで未対応の時間帯をカバーするための「新プラットフォーム」（モアタイムシステム）を本体システムとは別に構築します。これにより、既存の本体システムとモアタイムシステムそれぞれが対応する時間帯のトータルで 24 時間 365 日、他行宛振込のリアルタイム着金が可能なシステム環境を整備します。
- 「現行の稼働時間帯」は、全加盟銀行⁷が接続を義務付けられています。一方で、モアタイムシステムは、加盟銀行ごとに、参加／不参加を選択可能とします。
- 加盟銀行のシステム開発事情や事務体制整備等の準備期間は、それぞれ異なるため、モアタイムシステム稼働当初に不参加を選択した加盟銀行も、準備が整い次第参加可能とします。
- モアタイムシステムへの参加を選択した銀行（「参加銀行」といいます。）はさらに、拡大された時間帯のうち、お客さまのニーズ等を踏まえて個別に接続する時間帯を決めるスキームとしています。このため、参加銀行であっても時間帯によっては、モアタイムシステムによる振込が受けつけられない場合があります。
- ただし、参加銀行は、個人・法人ともにニーズが高い、平日 15：30 から 18：00 までの時間について、共通して接続することとします。

⁶ 年末営業日を除く。

⁷ 全国銀行内国為替制度（主に、全銀システムを利用し、銀行等の間の資金決済を行う仕組み）に加盟する預金取扱金融機関。

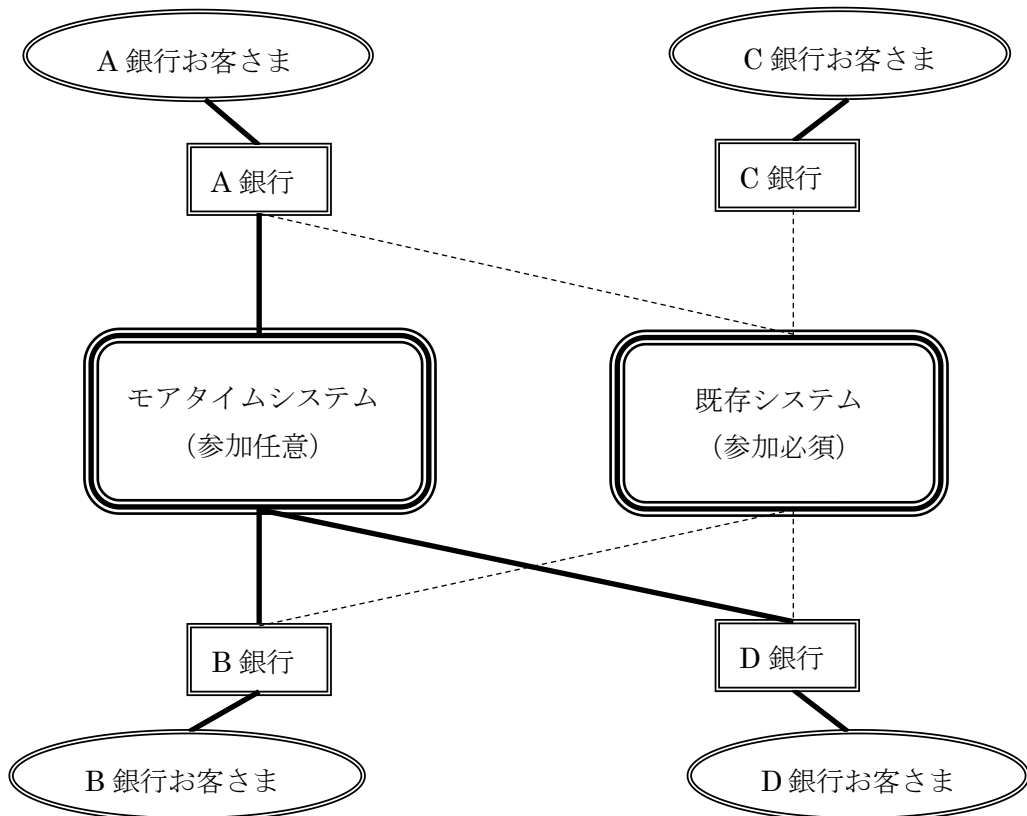
- 「新たに拡大する稼働時間帯」におけるリアルタイム着金の成立条件は、振込を依頼する側の銀行（「仕向銀行」）と当該振込を受ける側の銀行（「被仕向銀行」）の双方がモアタイムシステムに同時に接続していることです。

【既存システムとモアタイムシステムのイメージ】

ケース I

A銀行とB銀行とD銀行がモアタイムシステムに参加（C銀行はモアタイムシステムに不参加）しており、A銀行、B銀行、D銀行全てがモアタイムシステムに接続している時間帯の場合。

- ・ この場合において、リアルタイム着金が可能となるのは、A銀行、B銀行、D銀行のいずれかの銀行から、A銀行、B銀行、D銀行いずれかの銀行へ振込を行うときとなります。ただし、上述のとおり、同一銀行の口座間における振込（A銀行の口座からA銀行の他の口座に振込を行うとき等）については、本取組みの対象外であり、リアルタイム着金が可能かどうかは、銀行ごとに異なります。
- ・ 上記以外するとき（C銀行から振込を行うときや、C銀行へ振込を行うとき等）は、現在同様、基本的には翌営業日⁸に着金が行われます。



※ 実線（——）部分は、通信中のネットワーク回線のイメージ。

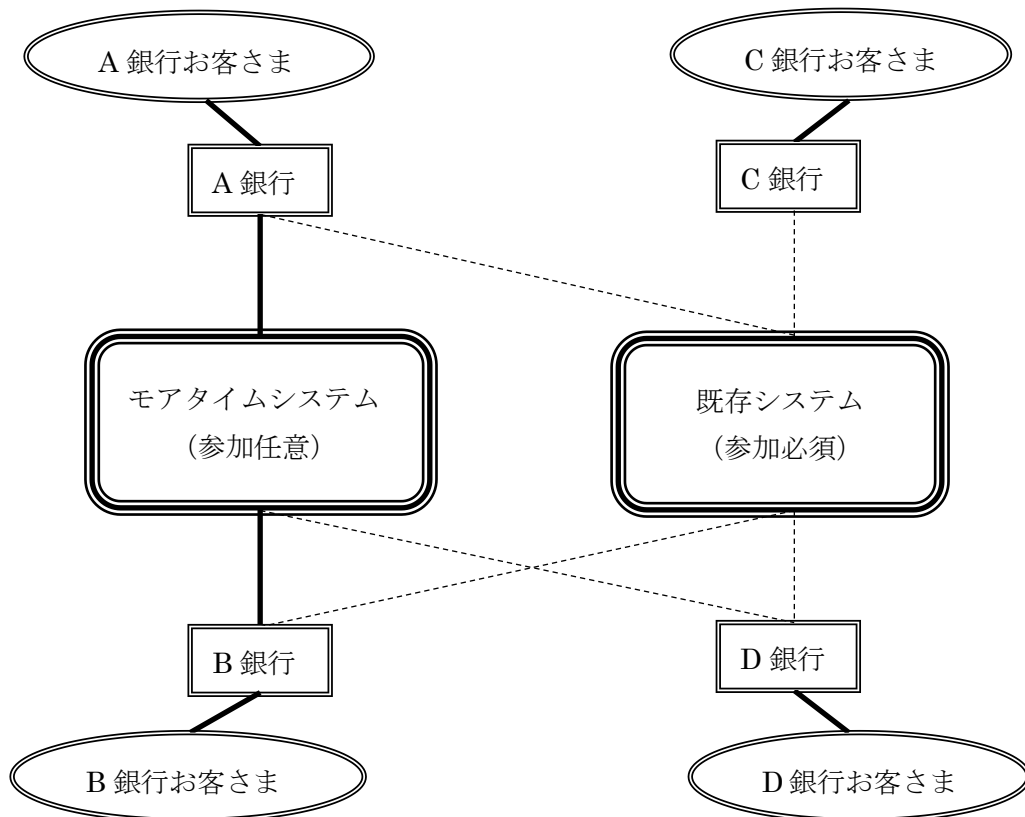
※ 破線（-----）部分は、通信を休止しているネットワーク回線のイメージ。

⁸ 具体的には、翌営業日の各銀行が既存システムへ接続する時間（通常 8：30。月末営業日（年末営業日を除く）は 7：30。）頃に、モアタイムシステムと既存システムが連携し、既存システムを通じて、着金が行われます。

ケースⅡ

A銀行とB銀行とD銀行がモアタイムシステムに参加（C銀行はモアタイムシステムに不参加）しているが、A銀行とB銀行のみ接続している時間帯（D銀行はシステムのメンテナンス等により未接続の時間帯）の場合。

- ・ この場合において、リアルタイム着金が可能となるのは、①A銀行からB銀行へ振込を行うときと、②B銀行から、A銀行に振込を行うときとなります。
- ・ ③A銀行またはB銀行から、D銀行へ振込を行ったときは、D銀行がモアタイムシステムに再接続した際、または、翌営業日⁹に着金が行われます。
- ・ ④D銀行から、A銀行またはB銀行へ振込を行ったときは、基本的には、D銀行がモアタイムシステムに再接続した際、または、翌営業日¹⁰に着金が行われます。
- ・ 上記以外するとき（C銀行から振込を行うときや、C銀行へ振込を行うとき等）は、現在同様、基本的には翌営業日¹¹に着金が行われます。



※ 実線（——）部分は、通信中のネットワーク回線のイメージ。

※ 破線（-----）部分は、通信を休止しているネットワーク回線のイメージ。

⁹ 脚注8参照。

¹⁰ 脚注8参照。

¹¹ 脚注8参照。

(2) モアタイムシステム稼働時の対象業務

- モアタイムシステムは、必要最小限の機能に限定し、稼働開始することとしています。
- 具体的には、モアタイムシステム稼働開始時の対象業務は、振込金額1億円未満¹²の「テレ為替」¹³業務です。また、予め入金日を指定した振込（先日付扱いの振込）や複数の振込を一括してご依頼いただく等の振込（総合振込や給与・賞与の振込）については、モアタイムシステム稼働開始時の対象業務ではありません。

3. モアタイムシステムへの銀行の参加意向

- 平成30年4月末時点において、全体の約75%割（105行）の加盟銀行¹⁴が、モアタイムシステム稼働当初から、参加を希望しています（接続時間帯については、今後調査予定¹⁵）。なお、お客さまの利便性向上のため、本取組みの趣旨を踏まえ、より広範な加盟銀行の参加が得られるよう、引き続き取り組んでまいります¹⁶。

以上

¹² 実際にお客さまが取引できる金額は、参加銀行ごとのチャンネルに応じた取扱上限金額等によって異なる場合があります。

¹³ 全銀システムを通じて振込（為替通知）を1件ごとにオンラインリアルタイムで発受信する通信方法。

¹⁴ 共同接続方式の代行決済委託金融機関および代行決済受託金融機関（個別の信用金庫、信用組合、労働金庫、信用農業協同組合連合会、信用漁業協同組合連合会、農業協同組合および漁業協同組合等）は、計数に含まれていないため、母数は141行。

¹⁵ 平日15:30から18:00までの時間については、全参加銀行が共通して接続することとしており、それ以外の時間帯の接続については、今後、参加希望銀行に対して調査を実施する予定です。

¹⁶ 平成28年5月末の調査においては、モアタイムシステム稼働後の参加希望を含めると、145行のうち9割以上の銀行がモアタイムシステムへ参加する意向を示しています。